

令和元（2019）年度 第2回 栃木県企業局経営評価委員会

令和 2（2020）年度

栃木県企業局企業会計当初予算案等説明資料

【目次】

○ 栃木県企業局経営戦略の概要	1
○ 令和 2（2020）年度企業局当初予算編成方針	2
〔企業局各事業会計〕	
○ 電気事業	3
○ 水道事業	7
○ 工業用水道事業	9
○ 用地造成事業	11
○ 施設管理事業	15

「栃木県企業局経営戦略」の概要

第1章 経営戦略の策定

- 平成28年度から令和7年度までの10年間の計画期間とする企業局の事業運営の指針
- 投資及び財政見通しに基づく10年間の収支計画と各年度の取組指針となる5か年の実施計画
- 経営環境の変化に柔軟に対応を図る観点などから、5年毎に改定

第2章 企業局経営方針

経営環境の変化

- > 施設等の老朽化に伴う更新投資の増大
- > 地方公営企業会計制度の見直しによる経営の透明性の向上と自己責任の拡大
- > 再生可能エネルギーの導入促進、電力システム改革の段階的实施
- > 地方創生の推進

経営方針

- 安定的なサービス提供**
- > 利用者のニーズに応え、安全・安心を確保しながら、安定的にサービス提供
- 経営基盤の強化**
- > 事業の効率化、経営の健全化の取組を推進
- 地域や環境への貢献**
- > 地方創生に向けた地域経済活性化や地球温暖化対策等への貢献

第4章 経営戦略の推進

- PDCAサイクルの確立**
- > 経営戦略の計画的、効率的な推進を図るため、PDCAサイクルを確立
- 達成度の評価**
- > 経営面（経営の安定性、健全性）と事業面（目標業務量や主要な取り組みの進捗状況）の両面から達成度を評価
- 経営の透明性の確保**
- > 専門家等を構成員とする栃木県企業局経営評価委員会により評価の客観性を確保
 - > 決算の状況や達成度の評価を公表し、経営の透明性を確保

第3章 事業別経営戦略

	経営方針	収支計画（平成28～令和7年度）	実施計画（平成28～令和2年度）
電気事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電力の安定供給 ○ 水力発電の推進 ○ 経営基盤の強化 ○ 人材育成 ○ 環境対策 	<ul style="list-style-type: none"> > 風見発電所全面改修による運転停止のための減収は、新規発電所の運転開始で補てん > 固定価格買取制度に移行する風見発電所の運転再開後は、大幅な増収 > 新規発電所の建設工事や風見発電所の全面改修工事は借入金で実施 	<p>【計画業務量(令和2年度)】 年間供給電力量：229,000MWh</p> <ul style="list-style-type: none"> > 大下沢発電所は平成29年度、五十里発電所及び小百川発電所は平成30年度に運転開始 > 固定価格買取制度や発電コスト低減等に資する新技術を活用した新規開発事業化を検討 > 固定価格買取制度の適用等により安定した収入を確保
水道事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全で安心な水道水の供給 ○ 災害に強く、強靱な施設と体制づくり、水質事故等の対応強化 ○ 経営基盤の強化 ○ 人材育成 ○ 環境対策 	<ul style="list-style-type: none"> > 料金収入は横ばい > 建設改良工事に伴い減価償却費が増加するが、支出の抑制に努め、経常利益を確保 > 施設の更新工事等は、利益剰余金等を活用 	<p>【計画業務量(令和2年度)】 年間供給水量：北那須 11,300千m³ 鬼怒 11,000千m³</p> <ul style="list-style-type: none"> > 施設更新等の計画に基づき、着実に設備等を更新し、施設の強靱化を推進 > 安全な水質維持のため、水質監視体制、施設防護対策を充実 > 計画的な施設の修繕・更新等実施のため、適正な料金設定 > 浄水発生土の資源化利用を推進
工業用水道事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工業用水の安定供給 ○ 新規需要の開拓 ○ 災害に強く、強靱な施設と体制づくり、水質事故等の対応強化 ○ 経営基盤の強化 ○ 人材育成 ○ 環境対策 	<ul style="list-style-type: none"> > 料金収入は横ばい > 建設改良工事に伴い減価償却費が増加するので、経常利益の減少が見込まれるが、支出の抑制に加え、新規需要を開拓 > 施設の更新工事等は、利益剰余金等を活用 	<p>【計画業務量(令和2年度)】 年間実供給水量：5,700千m³</p> <ul style="list-style-type: none"> > 施設更新等の計画に基づき、着実に設備等を更新し、施設の強靱化を推進 > 新たな受水企業の誘致活動 > 計画的な施設の修繕・更新等実施のため、適正な料金設定 > 浄水発生土の資源化利用を推進
用地造成事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力ある産業団地の安定的な供給 ○ 経営基盤の強化 ○ 地域や環境への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> > 矢板南、大和田、みぶ羽生田の各産業団地と新たに足利市に整備する産業団地の早期分譲を図り、分譲収益を確保 	<p>【計画業務量(5か年計)】 分譲面積：36.8ha</p> <ul style="list-style-type: none"> > PRR活動の積極的展開と、関係機関との連携を強化し、一体的な企業誘致活動を展開することで、未分譲用地を早期分譲 > みぶ羽生田産業団地は、立地企業の工場建設計画等に沿った造成・分譲 > 足利市に新たに整備する産業団地の早期造成・分譲の取組を展開
県民ゴルフ場事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 満足度の高いサービスの提供 ○ 老朽化に対応した計画的な改修 ○ 経営基盤の強化 ○ 県民の健康増進、余暇活動の充実への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> > 現在の納付金収入では、経営状況を改善することは困難なため、支出の抑制に努め経常利益を確保 	<p>【計画業務量(令和2年度)】 年間利用者数：33,000人</p> <ul style="list-style-type: none"> > 利用者のニーズを的確に把握し、サービス向上やアメニティ面の充実 > 指定管理者と一体となった業務改善を実施 > マスメディアやインターネットを活用した効率的な営業活動 > 県のイベント等と連動したプレイ料金の割引
賃貸ビル事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設管理の効率化 ○ 老朽化に対応した計画的な改修 ○ 経営基盤の強化 	<ul style="list-style-type: none"> > 継続して入居団体の維持に努め、経常利益を確保し、借入金を縮減 	<p>【計画業務量(令和2年度)】 入居率：100%</p> <ul style="list-style-type: none"> > 省エネ機器を導入 > 安定した賃料収益を確保し、借入金残高や累積欠損金を縮減

令和2(2020)年度 企業局当初予算編成方針

1 予算編成の基本的考え方

令和2(2020)年度企業局当初予算編成に当たっては、国や本県の令和2(2020)年度当初予算編成方針を踏まえて取り組むべき課題を見極め、「栃木県企業局経営戦略」に掲げる実施計画等の達成に必要な費用を見積り、経営の基本原則である企業の経済性の発揮と公共の福祉の増進に資するよう編成した。

2 事業会計別事項

(1) 電気事業会計

水力発電を推進するため、計画的な施設の修繕・更新を実施するとともに、風見発電所大規模改修に着実に取り組む。

また新規発電所の開発や既設発電所の大規模改修については、国の固定価格買取制度の状況を見極め、事業効果や採算性を十分に検討して取り組む。

(2) 水道事業会計

安全で安心な水道水の安定供給を図るため、計画的な施設の修繕・更新を実施するとともに、災害対応力の強化、水質事故等への対応強化、放射性物質を含む浄水発生土の適切な管理・処分及び適正な水質管理等に取り組む。

(3) 工業用水道事業会計

工業用水の安定供給を図るため、計画的な施設の修繕・更新を実施するとともに、災害対応力の強化、水質事故等への対応強化、放射性物質を含む浄水発生土の適切な管理・処分及び適正な水質管理等に取り組む。

また、受水企業の定着に努めるとともに、新規需要の開拓に取り組む。

(4) 用地造成事業会計

矢板南産業団地及び大和田産業団地については、引き続き、地元市等と連携を図り、早期分譲に向けて積極的に誘致活動に取り組む。

芳賀第2工業団地については、コスト縮減等に努めつつ、芳賀町等と連携して造成工事等を推進し、早期(予約)分譲につながるよう積極的な情報発信を行う。

(仮称)鹿沼東工業団地については、事業実施が決定した場合に速やかに用地買収及び実施計画が進められるよう、鹿沼市等と連携して取り組む。

市町の新規産業団地構想に対しては、関係部局や市町との連携の下、積極的に関与し、整備推進に努める。

(5) 施設管理事業会計

ア 経営総合管理事業

所要経費を適切に見積もるとともに、各事業会計に共通する印刷物等の一括発注や備品の共有化など、経費削減に努める。

イ ゴルフ場事業

利用者へのサービス向上を図るため、指定管理者との役割分担により、施設の適正管理を行う。

ウ 賃貸ビル事業

企業債の計画的な償還及び累積欠損金の解消を図るため、賃料収入の安定確保及び経費削減に努める。

Ⅰ 令和2(2020)年度 企業会計当初予算案の概要

1 電気事業

(1) 予算案

(千円)

区分	令和2(2020)年度当初予算案			令和元(2019)年度当初予算額			前年度比較増減		
	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引
収益的収支	2,564,000	2,419,000	145,000	2,257,000	2,154,000	103,000	307,000	265,000	42,000
資本的収支	388,000	853,000	▲ 465,000	351,000	883,000	▲ 532,000	37,000	▲ 30,000	67,000

(2) 主要事項

〔電力供給の見込み〕

項目	令和2(2020)年度(A)	令和元(2019)年度(B)	(A) - (B)	(A) / (B) (%)
ア 販売電力量	221,918 MWh	229,953 MWh	▲ 8,035 MWh	96.5
イ 売電単価				
①川治第一外7発電所	(予算単価) 9.76 円/kWh	(予算単価) 8.35 円/kWh	1.41 円/kWh	116.9
②小網発電所	29.02 円/kWh	29.02 円/kWh	—	—
③大下沢発電所	34.00 円/kWh	34.00 円/kWh	—	—
④五十里発電所	24.00 円/kWh	— 円/kWh	—	—
⑤小百川発電所	34.00 円/kWh	— 円/kWh	—	—
ウ 料金収入	2,508,010 千円	2,208,993 千円	299,017 千円	113.5

〔主な実施予定事業〕

実施事業名	事業費(千円)	備考
風見発電所全面改修事業(H30(2018)~R5(2023)継続費)	282,425	FIT認定
川治第一発電所取水口ゲート巻揚装置更新工事(R2(2020)~R3(2021)継続予定)	95,150	
小百川発電所建設工事(H28(2016)~R2(2020)継続予定)	48,000	FIT認定
木の俣発電所発電機更新工事(R2(2020)~R3(2021)継続予定)	47,148	
とちぎふるさと電気(環境保全事業等の財源に充当)	35,000	電気事業から一般会計に繰出

電気事業

項目	取組	令和2(2020)年度の取組予定
電力の安定供給	○風見発電所全面改修 (FIT認定)	▶工事監理業務委託発注 ▶遠方監視制御装置改修工事発注 ▶令和2(2020)年10月から現地工事着手
	○川治第一発電所取水口ゲート巻揚装置更新工事	▶川治第一発電所取水口ゲート巻揚装置更新工事
	○木の俣発電所発電機更新工事	▶木の俣発電所発電機更新工事
	○保安訓練・防災訓練	▶ダムを対象とした洪水対応演習(5月 実施予定) ▶事故故障発生時の対応訓練(実施予定) ▶発電所、ダムの油流出対応訓練(実施予定)
水力発電の推進	○五十里発電所建設 (FIT認定)	▶竣工試験後、運転開始
	○小百川発電所建設 (FIT認定)	▶土木設備工事 ▶竣工試験後、運転開始
	○新規開発の事業化検討	▶新規開発の事業化検討
経営基盤の強化	○固定価格買取制度の適用等による安定した収入の確保	▶深山発電所全面改修について、固定価格買取制度(FIT)適用を検討
人材育成	○技術承継、研修の充実、資格取得支援	▶内部研修の実施・外部研修への派遣等
環境対策	○その他	▶「とちぎふるさと電気」の販売及び環境保全事業等の実施(県)

風見発電所全面改修事業について

R2.2.14
栃木県企業局電気課

1 発電所の概要



取 水 河 川 名	取水場所	発 電 所 所 在 地	最 大 使用水量	有効落差	最大出力	年間発生電力量
鬼怒川	佐貫頭首工	塩谷町	42m ³ /s	29.4m	10,200kW	56,906MWh (16,400世帯相当)

2 事業概要

風見発電所は、昭和39(1964)年4月の運転開始から55年を経過し、設備が老朽化していることから、固定価格買取制度(FIT)の適用を受けて平成30(2018)年度から全面改修事業に着手し、令和5(2023)年4月の運転再開を目指します。

3 改修内容

- (1) 電気設備 主要機器(水車、発電機、配電盤、屋外変電所)全面更新
- (2) 土木・建築 発電所建屋新築、基礎改修
- (3) 機械設備 水圧鉄管及びゲート等更新

4 スケジュール

	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	備 考
発電所停止期間							令和5年度から運転再開
主要機器製作据付	←					→	H30発注済
主要機器等撤去			←				
発電所基礎改修			←				令和元年度発注 (合算)
発電所建屋新築			←				
水圧鉄管更新			←				令和元年度発注
制水ゲート更新				←			水槽・放水庭
除じん機更新				←			
遠方監視制御装置改修			←			→	既設装置の移設・改修

←→ 契約工期

—— 現地工事期間

5 総事業費

約57億円(H30(2018)~R5(2023)の継続費)

発電所内設備



水車



発電機



配電盤室



キュービクル

屋外変電所設備



屋外鉄構



主要変圧器

水圧鉄管



2 水道事業

(1) 予算案

(千円)

区分	令和2(2020)年度当初予算案			令和元(2019)年度当初予算額			前年度比較増減		
	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引
収益的収支	2,127,000	2,045,000	82,000	2,157,000	2,017,000	140,000	▲ 30,000	28,000	▲ 58,000
資本的収支	1,000	655,000	▲ 654,000	1,000	1,044,000	▲ 1,043,000	0	▲ 389,000	389,000

(2) 主要事項

[水道用水供給の見込み]

項目		令和2(2020)年度(A)	令和元(2019)年度(B)	(A) - (B)	(A) / (B) (%)
ア 年間供給水量	(北那須)	11,067,165 m ³	11,280,120 m ³	▲ 212,955 m ³	98.1
	(鬼怒)	11,044,900 m ³	11,075,160 m ³	▲ 30,260 m ³	99.7
イ 料金単価	(北那須)	79.62 円/m ³	79.62 円/m ³	適用期間: R元(2019)年度~R5(2023)年度	
	(鬼怒)	85.54 円/m ³	85.54 円/m ³	適用期間: H29(2017)年度~R3(2021)年度	
ウ 料金収入	(北那須)	969,284 千円	978,954 千円	▲ 9,670 千円	99.0
	(鬼怒)	1,039,258 千円	1,032,632 千円	6,626 千円	100.6

3 工業用水道事業

(1) 予算案

(千円)

区分	令和2(2020)年度当初予算案			令和元(2019)年度当初予算額			前年度比較増減		
	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引
収益的収支	1,015,000	955,000	60,000	850,000	771,000	79,000	165,000	184,000	▲ 19,000
資本的収支	18,000	343,000	▲ 325,000	10,000	179,000	▲ 169,000	8,000	164,000	▲ 156,000

(2) 主要事項

[工業用水道供給の見込み]

項目		令和2(2020)年度(A)	令和元(2019)年度(B)	(A) - (B)	(A) / (B) (%)
ア	年間基本供給水量	8,944,913 m ³	8,984,202 m ³	▲ 39,289 m ³	99.6
	年間使用水量	5,626,318 m ³	5,651,040 m ³	▲ 24,722 m ³	99.6
イ	料金単価(単一料金換算)	55.15 円/m ³	55.15 円/m ³	適用期間: H29(2017)年度~R3(2021)年度	
ウ	料金収入	541,421 千円	538,855 千円	2,566 千円	100.5

〔水道及び工業用水道事業の主な実施予定事業〕

実施事業名	事業費(千円)			備考
	北那須	鬼怒上	鬼怒工	
ろ過池コントロールセンター等更新工事	98,462			
薬品沈澱池汚泥掻寄機更新工事	99,991			
宇都宮高根沢BP送水管移設工事(真岡益子ルート)		102,291		
芳賀第2工業団地配水管布設工事等			223,300	
管路劣化診断等業務委託	8,558	3,608	3,608	
管路施設耐震診断業務委託	10,978		19,547	

水道事業

項目	取組	令和2(2020)年度の取組予定
安全で安心な水道水の供給	<ul style="list-style-type: none"> ○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 ○設備更新等の計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ろ過池コントロールセンター等更新工事（北那須） ▶薬品沈殿池汚泥掻き機更新工事（北那須） ▶設備更新等長期計画策定検討会
	<ul style="list-style-type: none"> ○水質監視体制、施設防護対策等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ▶機械警備業務委託（北那須、鬼怒）
	<ul style="list-style-type: none"> ○水質検査計画の作成・公表、検査結果公表、精度管理 	<ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査計画作成・HP公表 ▶水質検査結果HP公表 ▶水道水質精度管理実施
	<ul style="list-style-type: none"> ○その他 	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮高根沢B P 送水管移設工事（真岡益子ルート）
災害に強く、強靱な施設と体制づくり、水質事故等の対応強化	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震化への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設耐震(簡易)診断業務委託（北那須） ▶管路施設耐震化等検討会（北那須、鬼怒）
	<ul style="list-style-type: none"> ▶管路劣化診断 	<ul style="list-style-type: none"> ▶埋設管路劣化診断等業務委託（北那須） ▶送水管路劣化診断等業務委託（鬼怒）
	<ul style="list-style-type: none"> ○災害想定訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▶防災訓練を実施 ▶共同防災訓練（北那須、鬼怒） ▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練を実施
経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○適正な料金設定 	<ul style="list-style-type: none"> ▶鬼怒水道用水供給事業のR4年4月以降の料金見直し（R2(2020)年度～R3(2021)年度）
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○技術継承、研修の充実、資格取得支援 	<ul style="list-style-type: none"> ▶日本水道協会主催の技術継承研修等への参加 ▶資格取得の支援 ▶OJT実施による技術継承（現場実務研修を含む）
環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ○高効率・省エネルギー機器の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ▶照明のLED化を実施 ▶照明設備修繕工事（鬼怒）
	<ul style="list-style-type: none"> ○浄水発生土の資源化利用 	<ul style="list-style-type: none"> ▶浄水発生土の有効利用

工業用水道事業

項目	取組	令和2(2020)年度の取組予定
工業用水の安定供給	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 ○設備更新等の計画の見直し	▶設備更新等長期計画策定検討会
	○水質検査結果等の情報発信	▶水質検査結果HP公表
	○施設防護対策等の充実	▶浄水場等機械警備業務委託
新規需要の開拓	○工業用水ニーズの情報収集	▶需要拡大検討班会議を開催 ▶受水企業訪問 ▶関係機関との情報交換
	○新たな受水企業の誘致活動	▶新規企業への営業活動 ▶芳賀第2工業団地配水管布設の検討
災害に強く、強靱な施設と体制づくり、水質事故等の対応強化	○耐震化への取組	▶配水管路劣化診断業務委託 ▶管路施設耐震(簡易)診断業務委託 ▶管路施設耐震化等検討会
	○災害想定訓練の実施	▶防災訓練を実施 ▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練を実施
経営基盤の強化	○適正な料金設定	工業用水道事業のR4(2022)年4月以降の料金見直し(R2(2020)年度～R3(2021)年度)
人材育成	○技術継承、研修の充実、資格取得支援	▶日本工業用水協会主催の技術継承研修等への参加 ▶資格取得の支援 ▶OJT実施による技術継承
環境対策	○高効率・省エネルギー機器の導入	▶照明のLED化を実施 ▶照明設備修繕工事
	○浄土発生土の資源化利用	▶浄水発生土の有効利用

4 用地造成事業

(1) 予算案

(千円)

区分	令和2(2020)年度当初予算案			令和元(2019)年度当初予算額			前年度比較増減		
	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引
収益的収支	790,000	735,000	55,000	2,114,000	1,948,000	166,000	▲ 1,324,000	▲ 1,213,000	▲ 111,000
資本的収支	2,401,000	3,174,000	▲ 773,000	1,751,000	2,525,000	▲ 774,000	650,000	649,000	1,000

(2) 主要事項

〔分譲の見込み〕

項目	令和2(2020)年度(A)	令和元(2019)年度(B)	(A) - (B)	(A) / (B) (%)
ア 分譲面積	4.1 ha	6.1 ha	▲ 2.0 ha	67.2
イ 分譲収入	768,801 千円	1,065,682 千円	▲ 296,881 千円	72.1

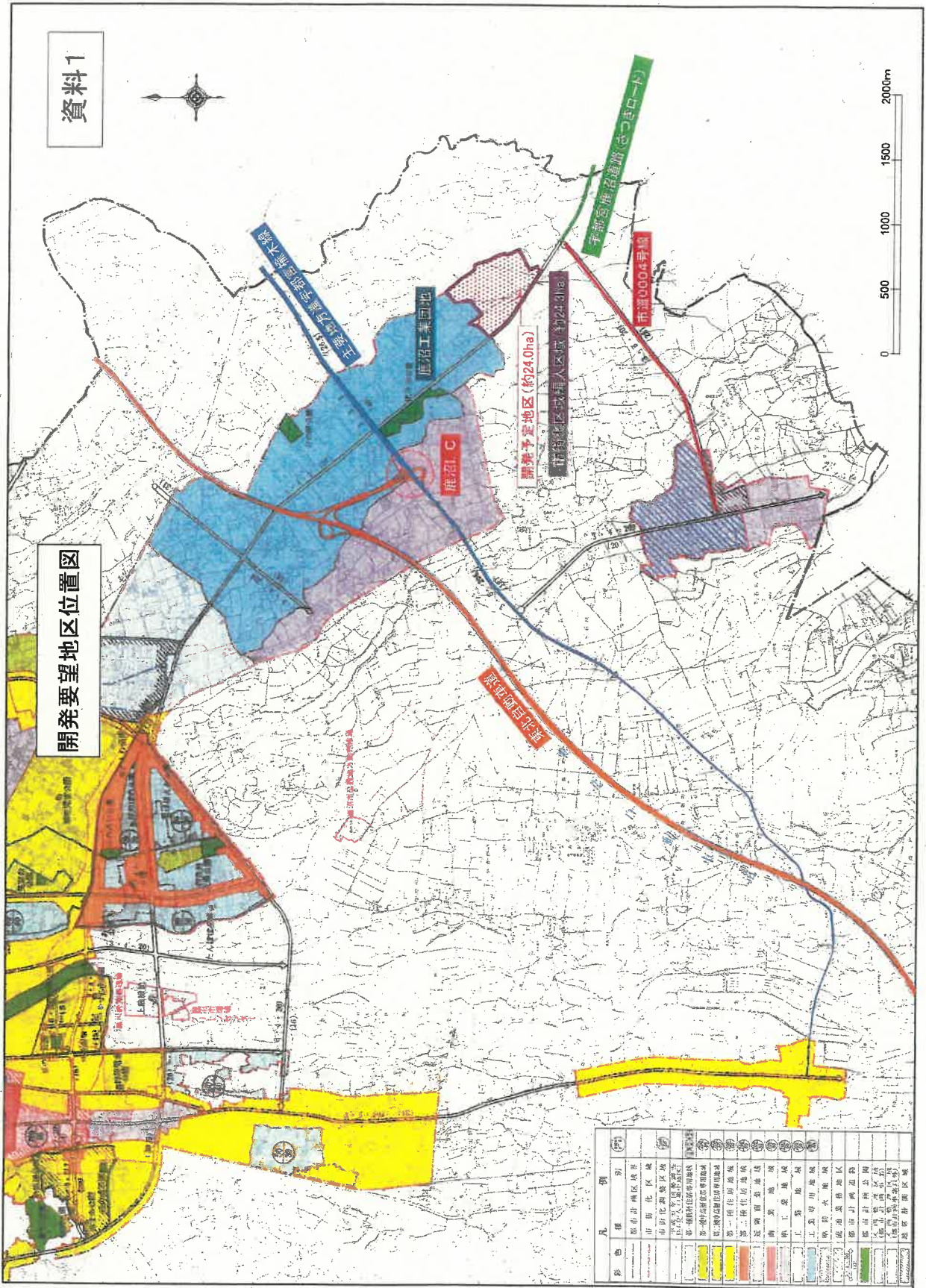
〔主な実施予定事業〕

実施事業名	事業費(千円)	備考
鹿沼市新産業団地用地取得費等	1,378,500	基礎調査中
鹿沼市新産業団地調査設計等委託	143,000	
芳賀第2工業団地造成工事	397,000	芳賀町負担金収入:146,000千円
工業用地開発調査に要する経費	55,000	新規地区基礎調査
企業誘導に要する経費	12,718	PR広告費、企業情報収集費等

用地造成事業

項目	取組	令和2(2020)年度の取組予定
魅力ある産業団地の安定的な供給	○矢板南産業団地	▶各種メディア（各種展示会、新聞広告、インターネット等）を活用したPR活動 ▶ダイレクトメールを活用した企業訪問等
	○大和田産業団地	
	○芳賀第2工業団地	▶造成工事等 ▶各種メディア（各種展示会、新聞広告、インターネット等）を活用したPR活動 ▶ダイレクトメールを活用した企業訪問等 ▶一部予約分譲開始
	○鹿沼市新産業団地（基礎調査実施中）	▶事業実施の可否決定 ▶事業実施地区となった場合には速やかに事業を展開
	○更なる新産業団地	▶基礎調査地区が決定した場合には速やかに基礎調査に着手
経営基盤の強化	○地元市町等との適切な役割分担	▶芳賀第2工業団地に係る芳賀町との協定等に基づく事業執行
	○金利負担軽減等	▶分譲収益を活用した企業債の繰上償還等
地域や環境への貢献	—	▶みぶ羽生田産業団地整備に伴う里山林保全活動及び環境モニタリング

【(仮称) 鹿沼東工業団地】



5 施設管理事業

(1) 予算案

(千円)

区分	令和2(2020)年度当初予算案			令和元(2019)年度当初予算額			前年度比較増減		
	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引	収入額	支出額	差引
収益的収支	407,000	355,000	52,000	406,000	355,000	51,000	1,000	0	1,000
資本的収支	0	61,000	▲ 61,000	33,000	94,000	▲ 61,000	▲ 33,000	▲ 33,000	0

(2) 主要事項

項目	令和2(2020)年度(A)	令和元(2019)年度(B)	(A) - (B)	(A) / (B) (%)
ア 経営総合管理事業				
・共通管理費	179,055 千円	189,386 千円	▲ 10,331 千円	94.5
イ ゴルフ場事業				
・年間利用者目標数	35,000 人	33,000 人	2,000 人	106.1
・指定管理者納付金収入	21,388 千円	21,194 千円	194 千円	100.9
ウ 賃貸ビル事業				
・賃貸収益	97,752 千円	96,857 千円	895 千円	100.9
・共益費	79,521 千円	78,781 千円	740 千円	100.9

施設管理事業(ゴルフ場事業)

項目	取組	令和2(2020)年度の取組予定
満足度の高いサービスの提供	○シニアや女性の利用促進 ○ジュニアゴルファーの育成	▶シニア&レディース杯の開催(毎月) ▶ジュニアゴルフスクールの開催
	○柔軟なプレイ料金の設定	▶季節に応じた夏季・冬季割引及び利用者に応じたジュニア料金、特割デー等の設定
	○コースコンディションの維持	▶グリーンキーパーの技術力向上を図りながら、良好なコースコンディションを維持
老朽化に対応した計画的な改修	—	▶クラブハウス屋根等塗装修繕工事 ▶浄化槽修繕工事 ▶照明器具修繕工事 ▶長期修繕計画の作成
経営基盤の強化	○業務改善の実施	▶シンプル&リーズナブルをコンセプトとした業務の展開
	○効率的な営業活動	▶テレビ番組、テレビ・ラジオコマーシャル、新聞広告、インターネット予約サイトを利用したPR活動の展開
県民の健康増進、余暇活動への貢献	○県のイベント等と連動した取組	▶県民の日特別料金の設定
	○定期的なコンペの開催	▶友の会月例会の開催(毎月第一日曜日) ▶水曜杯の開催(毎月第二水曜日) ▶シニア&レディース杯の開催(毎月)
	○利用者ニーズに対応したプレイスタイルの提供	▶フラットなコースを活かしたコース内カート乗り入れ

施設管理事業(賃貸ビル事業)

項目	取組	令和2(2020)年度の取組予定
施設管理の効率化	○節電等省エネの取組の推進	▶入居団体に対し、節電・節水の協力依頼
老朽化に対応した計画的な改修	—	▶空調用監視装置修繕工事 ▶ビルマネジメントシステム監視装置修繕工事
経営基盤の強化	—	▶入居率100%の確保